

国際交流協会総会 & セミナーの案内

★日時： 4月19日（日） 総会 午後2時～ セミナー 午後3時～

★会場： くすの木の家 ふれあい交流ホール

令和2年度の岩倉市国際交流協会の総会およびセミナーを上記の通り開催しますので、ぜひご参加ください。セミナーでは、岩倉市在住の絵本作家、正高もとこ氏をお招きし、講演会を行います。演題は「ハッピーエンドをあきらめないで ～作家が語る、人生後半に出会う絵本の魅力～」です。

正高氏は、40歳からの本格的な挑戦で絵本を作り始め、「どんぐりころちゃん」「まいにちまいにち たんじょうび」など、この20年間で10冊の絵本を出版されています。

作家になったプロセスや大人も楽しめる絵本の魅力について語っていただきます。



国際交流フェス

11月24日（日）11：30～馬頭琴の演奏とともに会が始まりました。

モンゴルの餃子「ボウズ」、エルサルバドルの伝統料理「ププサ」を食べ、歌ありダンスありで岩倉にいながらにしていろいろな世界が楽しめました。

最後のサンバは大盛り上がりでした。



JICAの研修生と日本文化体験

令和元年10月13日（日）JICAの研修生9名をゲストに迎え日本文化体験を行いました。12日に予定していたホームステイは大型台風直撃のため中止になり、文化体験とホスト予定家族との交流会を開催しました。

午前は茶道体験でお茶をいただいた後、実際にお点前にチャレンジ。皆さん点て方に興味深々の様子でした。ホストとのランチ交流会では、それぞれ自国の紹介を熱く語り、歌や踊りが飛び出し、にぎやかな文化交流となりました。

午後は振袖、紋付袴、留袖などで着付け体験をしました。皆はじめての着物姿に大はしゃぎで楽しい撮影大会になりました。

<ホストファミリーの感想>

一緒に色々楽しみたい事を考えていたので、まさかの台風で中止になり残念です。またタイミングが合えば受け入れたいです。楽しい交流ができてよかったです。

<ラウフさん・アゼルバイジャン>

着物の着付け、茶道、そして昼食を一緒に食べたことはとても楽しく、日本とその文化、人々の事を知るよい機会でした。



自分の着物姿にウツトリ

世界のお惣菜～韓国料理編～

2月23日（日）生涯学習センター料理室にて、世界のお惣菜「韓国料理編」を行いました。締め切り前に定員に達し、身近な韓国料理への関心の高さをうかがえました。

講師の林英淑さん、松原尚美さんに教えて頂いたメニューは、ポッサム、イカフェ、チジミ、わかめスープ、大根ナムルの5品。ポッサムの豚肉は早めに火を消し、お湯の中で冷ましていくので、ジューシーで柔らかく仕上がりました。わかめスープは、始めにわかめをごま油で炒めるので、歯応え、香りも良く、ひと味違うスープになりました。

参加者からは「韓国料理が大好きなので、どのお料理も美味しく頂きました！」「自宅でも再現しやすいメニューで良かったです」など喜びのお声を沢山頂きました。

次回は5月又は6月に実施する予定です。皆さまのご参加をお待ちしています。



野菜たっぷり栄養満点！

フィリピン12年後の夢 ～150通の手紙を携え～

12年ぶりにフィリピンを訪れた。12年前、フロリダブランカ市ポーラックの高校の生徒たちから預かった手紙（タイムレター）を届けるためだ。「みんなが大人になったら、必ず届けるから、未来の自分に向けて手紙を書いてね」といって、預かった150通の手紙は12年間大切に保管しておいた。

フロリダブランカはリゾートや観光とは全く無縁の田舎だが、私にとっては国際交流の楽しさや、人の温かさにふれる原点の地と言える。小学校5年の時、初めて訪れたフロリダブランカは火山灰が降り積もった灰色の世界、冗談にも豊かとは言えない環境だったが、豊かさは物の豊かさではないことを学ばせてもらった。「いつか、この地の人たちの役に立てることをしたい」とずっと考えていた。

チャンスが訪れたのは、大学時代の春休み。岩倉市国際交流協会のプログラムで、フロリダブランカに1ヶ月滞在して現地の学校へ赴き、日本の文化を紹介するなど文化交流をする機会をもらった。初めて教壇に立つことへ不安はあったが、「日本のことをもっと知りたい!」と目を輝かして一生懸命に学ぼうとする生徒たちに囲まれて、無我夢中の1ヶ月が過ぎた。



そんな中で行った授業の一つがこの「タイムレター」だ。未来の自分を思い描き、夢や未来の自分に送るメッセージを書き、自分の名前と住所を書いて封をしてもらった。その束をスーツケースに入れ、日本へ持ち帰った。

あれから12年。あの当時の高校生はすでに立派な大人になっているだろう。この手紙を届けることの価値など分からないが、過去の自分から時を超えて届くエールが、今を歩む力になってくれたら、そんな想いで、フィリピンへ向かった。

その手紙の束は当時の校長先生であった神父さんが喜んで受け取ってくれて、かつての生徒たちに届けることを約束してくれた。その晩、神父さんがその手紙のことをフェイスブックにアップされると、当時の高校生からの反響は想像を超えていた。いずれもが12年前の自分からの手紙を待ちわびる喜びの声だった。（千村 友輝）

編集部より

今年は2月5日から伊藤ななさんが同じプログラムで現地で頑張っています。帰国後の報告が楽しみです。



モンゴルの夕べ ～岩倉にて～

＜日本に留学中のアリウンジャルガルさん
（横浜国立大学1年）からのメッセージ＞

本年度、新モンゴル留学生会は春の新入生合宿に加えて冬総会、モンゴルの夕べでも岩倉市の皆様のご協力をいただくことになり、嬉しさと感謝の気持ちでいっぱいです。

毎年、そしていつでも、温かい笑顔で迎えてくださる皆様は私たちにとって日本でできた家族のような存在です。今回の集いでは学生一同、自分の成長や進展を皆さまにお見せできるよう、それぞれ努力を重ねてまいりました。

今回のイベントに参加して下さった岩倉市の生徒の皆様を見て、改めて岩倉市は子どもから年配の方々まで年齢、立場に関係なく様々な形で私たちと交流し、支えてくださっていることがわかりました。特に、モンゴルへ来た生徒たちに「どうしてモンゴルへ？」と聞くと、元から計画していた子よりも、行ってから沢山の気づき、学びを得た子が多いようで、その話を嬉しそうにしてくれたことが印象的でした。

私たち新モンゴルの留学生は、これから学び進んでゆく中学生の皆さんの良き先輩、相談相手、そして仲間でいられることを願って、更なる交流の機会を心待ちにしています。本当に、ありがとうございました。



会員継続手続き及び新規会員申込手続きのご案内

事業は会員皆さまの会費と岩倉市国際交流事業補助金で運営されています。令和2年度も引き続き、会員継続手続きとして下記の口座へ会費のお振込みをお願いします。新規会員申込手続きについては、下記問合せ先にご連絡をお願いします。

会費振込先 いちい信用金庫愛北営業部 普通預金 1016300
口座名義人 岩倉市国際交流協会 内藤和子

会 費 1口1,000円とし、会計年度ごとに個人会員（家族会員）は3口以上、高校生以下はジュニア会員として1口、団体会員は10口以上です。

問 合 先 内藤（0587-66-7347）

会 報 COM第99号（2020年3月15日） 事務局 〒482-0021 岩倉市新柳町3-21-2（内藤方）
発 行 岩倉市国際交流協会 TEL・FAX 0587-66-7347
印 刷 大橋印刷所 HP : <http://www.iies.info>